

大豆島地区住民自治協議会だより

2025 年 1 月
NO.53

大豆島地区住民自治協議会スローガン まめやか大豆島 ふれあう笑顔



ホームページ www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/mamejima/473994.html (長野市 HP 内)

ブログ <http://mamejima.naganoblog.jp/>

発行者：大豆島地区住民自治協議会



謹 賀 新 年

本年もよろしくお願い申し上げます



合同防災訓練（9月28日）を行いました



今年度は、各区の自主防災会役員を主体に前年度より参加人員を多くして防災訓練を実施しました。

各区では地震発生を想定し、災害対策本部の設置訓練、防災無線の放送訓練、トランシーバーによる情報伝達訓練、消火器の取扱訓練等を行いました。

大豆島公園では、防災施設（防災倉庫・防災トイレ・かまどベンチ）の見学・炊き出しの実地訓練のほかに、鶴賀消防署東部分署と消防団の指導により「放水体験」「煙体験」と今回新たに「救出訓練」「搬送訓練」を追加し実施しました。その後市民センター多目的ホールで防災講話をお聞きしました。

【講話内容】 講師 二つの大震災を体験した 石田 哲也 様（西風間在住）
演題 「阪神淡路大震災と東日本大震災の体験談」



大豆島地区戦没者慰霊祭を更級神明大神社慰霊碑にて執り行われました

10月18日（金）、ご遺族、ご来賓及び区長会約30名の参列のもと、武井神社宮司の「慰霊の祝詞」の奏上により、戦争で亡くなられた方々に追悼の意を捧げ、平和を祈念いたしました。

里 山 フ ァ ン 支 援 事 業

この事業は令和2年度より中山間地域の里山の恵みと魅力を共有し、協働で同地域のコミュニティを担う活動として新たに始めた長野市が推進する事業です。

本年度も、大岡地区で春・秋2回の竹林整備のお手伝いを行いました。竹林の日当たりを良くするため、竹を伐採して片付ける作業に汗を流しました。終了後は参加した大岡地区の皆様と懇談し、連帯感も醸成されました。



「まちづくり推進協議会総会」

令和6年度大豆島地区まちづくり推進協議会の総会を7月22日（月）に開催しました。

協議事項は次のとおりです。

1. 令和5年度 活動報告について
2. 令和6年度 組織構成と役員改選について
3. 「エムウェーブ南産業用地開発」について
4. 「広域ごみ焼却施設建設に伴う地区要望」の進捗状況について
5. 「旧清掃センター跡地の埋設廃棄物と公園整備」について
6. 「大豆島地区のまちづくりにつながる事業」のうち大豆島小学校環境整備の未実施事業（優先的に校舎の全面改築）について



～ 上記協議事項「3」「4」「5」「6」について概要報告 ～

3：「エムウェーブ南産業用地開発」について

- ・長野市経済産業振興部企業立地課より、開発地の面積や位置などが航空写真で示され、開発の趣旨、事業手法と前年度までの経過、今年度からの経過と今後の予定について説明を受けました。
- ・今後の予定では、令和6年度より造成工事着工、令和7年度道路築造、令和7年度～令和8年度建築工事、令和9年度から事業所が稼働としています。

また、エムウェーブ南地区計画【令和6年3月1日決定 長野市告示 103号】の内容（地区計画の方針・地区整備計画）について説明がありました。

- ・開発事業者からは、開発の事業概要書が提示され開発道路計画、上下水道、緑地、消防等の防災設備設置、雨水対策について説明がありました。

更に、今回土地利用計画図が示され立地事業者についても開示されました。

なお、本経緯につきましては8月に市から大豆島全地区に回覧にて周知されております。

4：「広域ごみ焼却施設建設に伴う地区要望」の進捗状況について（通称 55 項目と呼ばれているものです）

進捗状況集約表（件数の報告）

（ ）内数字は、一部重複

要望事項	項目数	進捗状況			
		進行中	継続	実施無 （保留）	完了
1. 道路改良関係	17	（6）	5	1	（6）
2. 地域公民館整備関係	12			2	10
3. 治水施設整備関係	4	1			3
4. 周辺整備関係	5	2		1	2
5. 公園整備関係	5			1	4
6. 防災設備関係	4				4
7. その他	8	（1）		4	（4）
合計	55	（10）	5	9	（33）

※前年度まで進捗状況欄の実施無の表示を、今年度より実施無（保留）に変更しました。

※進捗状況欄において、前年度まで継続としていたものから、実施無（保留）としたものが2事業ありました。

5：「旧清掃センター跡地の埋設廃棄物と公園整備」について

- ・最初に事務局より、例年どおりこれまでの経緯と対応について説明を致しました。
- ・本年度の長野市からの回答は次のとおりです。

(令和5年度 資源再生センター埋設廃棄物撤去における基本設計業務について)

目的：各種測量、埋設廃棄物の範囲の確定、安全で安価な掘削と処分方法の検討、及び概算費用の積算
埋設廃棄物の状況：全体の撤去範囲とその内ヒ素検出範囲が区画ごと図面により示されました。

撤去範囲：1,936 m² (うち下層にヒ素が検出された範囲：416 m²)

撤去量：4,980 m³ (うち下層にヒ素が検出された範囲：1,430 m³)

基本設計業務の結果：撤去方法については廃棄物を掘削し、全量を民間の最終処分場へ埋め立てる。

埋設廃棄物撤去の手順：ヒ素が検出された区画から先行して実施し、完了したのち残りの撤去を実施。

埋設廃棄物の掘削、運搬、及び処分費用の概算金額：612,876 千円

(うち下層にヒ素が検出された範囲：177,232 千円)

今後の予定：令和6年度は詳細設計を行う予定。

なお、撤去時期等については大豆島地区全体の事業の進捗状況や財政面への影響等を含め、庁内で検討・協議をしていくとしています。

6：「大豆島地区のまちづくりにつながる事業」のうち大豆島小学校環境整備の未実施事業（優先的に校舎の全面改築）について

総務部会長より以下報告を致しました。

- ・令和6年2月に設立された「大豆島小学校校舎改築検討委員会」は、令和6年度に入り5月15日（水）に第1回目を開催しその内容について委員会だより vol.1 を回覧し今後も継続して発行予定である。
また、検討委員会の三役、幹事等による役員会を5回開催した。
- ・県道大豆島東和田線の拡幅について、長野建設事務所より整備事業（案）の説明と現地調査を実施する予定であることの説明。
- ・長野市教育委員会からの配置（案）を踏まえながら地区としての配置（案）をとりまとめ、令和6年度中に市への提案を目途としていること。



「大豆島小学校校舎改築検討委員会」の活動について

(同委員会の「委員会だより vol.3」より抜粋)

大豆島小学校校舎改築検討委員会（以後 検討委員会）は、11月までに9回の役員会と3回の委員会を開催しました。継続して、長野市教育委員会との意見交換や情報収集、役員間での意見の集約を重ね、校舎の配置案の検討を進めております。また、実際の現場である学校関係委員からも様々なご意見を頂いているところであります。

改築に関わるコスト、工期等について多くの課題を抱えている状況ですが、まずは具体的な配置案を「検討委員会」として長野市教育委員会に提示できる様、引き続き役員会と委員会を開催して議論を重ねて参ります。

また、役員会では大豆島小学校と比較的同規模の近隣小中学校の視察を計画しています。

柔軟な発想を持って、今後も役員会を中心に議論し、また、長野市教育委員会等関連機関との連絡協議を進め、第4回検討委員会に向けて準備を進めて参ります。

※委員会だより vol.3 は裏面に令和6年11月現時点における改築後の新たな校舎の配置（案）を掲載し令和6年12月に回覧済です。

赤い羽根共同募金



今年度も地区の皆様から、あたたかい支援のお気持ちとたくさんの募金が寄せられました。

共同募金総額 1,579,121 円 ご協力ありがとうございました

大豆島に 咲かせよう 思いやりの花

第53回大豆島地区人権同和教育推進住民大会 11月10日(日)

恒例のこの大会は、あらゆる差別や偏見のない明るく住みよい大豆島地区を目指し、地域の皆さんに人権について考えていただく機会として半世紀にわたり続いている歴史ある大会です。

【 内 容 】

〔教育標語優秀賞表彰〕

3年生

〔実践発表〕

5年生



犀陵中学校人権委員会

〔実践発表〕

長野東高等学校

〔講演会〕

岸田 隆 様



最後に読み上げられた「大会宣言」のとおり、人権問題を正しく理解し、あらゆる差別や偏見のない、明るく住みよいまちづくりに取り組んでいきましょう。

フードドライブ



フードドライブは各家庭で食べきれない食品を持ち寄り、それを必要とされる方に寄付する取組です。今年度は、11月24日(日)に行い、食品134点、お米130㎏、日用品ほか53点の提供をいただきました。

提供品は、長野市社会福祉協議会「まいさぽ長野市」にお届けし、生活にお困りの方にお渡しいただくことになりました。大豆島地区住民自治協議会では、今後もフードドライブ活動を行っていきますので、引き続きご協力お願いいたします。

